

令和8年度 課の運営方針書

福祉部 障害者支援課

1 課の運営方針

【課の使命】

「障害のある人もない人も、お互いのことを大切にし、助け合い支え合う、人にやさしい、人がやさしいまちづくり」の実現に向けて、「障害者の生活環境の充実」「障害者の社会参加の促進」の展開を図ります。

【課の目標】 令和8年度に重点的に取り組む事項・概要

- ① 地域生活支援拠点等の機能の充実
障害の重度化・高齢化や「親亡き後」などに対応し、安心して地域生活を送ることができるよう、地域生活支援拠点等の機能の充実を図ります。
- ② 相談支援体制の充実
福祉専門職員を対象とした研修を行い、地域の障害福祉を支える人材の育成を図ります。
- ③ 障害を理由とする差別の解消の推進
出前講座や各種の広報活動等を通じて、障害を理由とする不当な差別的取扱の禁止や、障害者に対する合理的配慮について、普及啓発に取り組みます。
- ④ 総合的な就労支援と障害者雇用の促進
障害者就業・生活支援センターと連携した就労支援に取り組むとともに、関係機関と連携して企業の障害者雇用の促進と周知を図ります。

【行政経営への取組】

業務の執行状況等を精査し、職員のスキルアップ、効率的な人員配置、DXツールの導入等により、効率的な業務遂行を図ります。

2 担当(係)の使命(果たす役割)

- (障害者福祉担当)
障害者手帳の交付、障害者医療の給付、手当の支給、補装具・日常生活用具の給付、情報のバリアフリー化 等
- (障害者支援担当)
相談支援体制の整備、障害福祉サービス・障害児通所支援の支給決定 等

3 課の経営資源

(1) 課の体制

職員数	23 人	うち	正職員	17 人	・	会計年度 任用職員	6 人	人件費	正職員	127,551 千円	会計年度 任用職員	17,832 千円
-----	------	----	-----	------	---	--------------	-----	-----	-----	------------	--------------	-----------

※R6職員平均給与(7,503 千円)ベース

※予算計上額

(2) 事業規模

歳入予算額	3,154,329 千円	歳出予算額	4,518,946 千円	(正職員人件費を除く)	担当予算事業数	10 事業
-------	--------------	-------	--------------	-------------	---------	-------

4 課の中期目標（優先順） 第3次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画に掲げられた基本施策を実現するための推進施策

推進施策別 優先順位	推進施策	令和11年度までに実現したい成果
1	4 保健・福祉 3 障害者福祉の充実 1 障害者の生活環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・障害のある方が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、地域生活支援拠点等の「相談」「緊急時の受入れ・対応」「体験の機会・場」の機能の充実を図ります。 ・基幹相談支援センターと連携して、相談支援専門員等を対象とした研修会を開催し、関係者の連携の円滑化と人材のスキルアップを図ります。 ・広報・啓発活動を通じて、障害者差別解消法の一層の浸透を図るとともに、障害者の意思疎通支援を担う人材の育成・確保や、支援機器の提供等の取り組みを行い、障害者の生活環境の充実を図ります。
2	4 保健・福祉 3 障害者福祉の充実 2 障害者の社会参加の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者就業・生活支援センターや就労支援事業所等と連携して、障害者の一般就労、職場定着を進めます。【就業・生活支援センターの支援を受け就職した障害者数:26人】 ・障害者施設共同受注センター協議会と共に障害者就労施設等が提供する物品・サービスの優先調達を推進し、工賃の増額を図ります。【障害者就労施設等からの物品・役務等の調達額:3,300万円】 ・県の障害者芸術文化祭や、総合支援学校生徒の芸術作品展示などの取り組みを通じて、障害の有無にかかわらず文化芸術活動を行うことができる環境づくりに取り組むとともに、障害者がスポーツに親しむことができるよう、キラリンピック参加の支援等を行い、障害者等の体力増強、交流、余暇活動等の充実を図ります。